

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公開番号】特開2010-143576(P2010-143576A)

【公開日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2010-026

【出願番号】特願2009-290136(P2009-290136)

【国際特許分類】

B 6 0 T 17/00 (2006.01)

B 6 0 T 8/34 (2006.01)

F 1 6 H 1/32 (2006.01)

F 1 6 H 13/08 (2006.01)

【F I】

B 6 0 T 17/00 D

B 6 0 T 8/34

F 1 6 H 1/32 A

F 1 6 H 13/08 Q

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月25日(2012.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動ユニットであって、モータ軸(12)を有する駆動モータと、前記モータ軸(12)上に配置された少なくとも1つの偏心装置(14, 16, 18)とを備え、前記偏心装置(14, 16, 18)は、外側で、複数の転がり支承部(16)に支承された1つの支持体(18)を含んでいる形式のものにおいて、前記偏心装置(14, 16, 18)は、前記支持体(18)のための機械的な駆動部(16, 20, 22, 24)を有していることを特徴とする駆動ユニット。

【請求項2】

前記機械的な駆動部(20, 22, 24)は、前記モータ軸(12)と前記支持体(18)との間に形成された伝動装置を含んでいる請求項1に記載の駆動ユニット。

【請求項3】

前記伝動装置は、前記駆動軸(12)に設けられた外周歯列(20)、前記支持体(18)に設けられた内周歯列(24)、並びに前記内周歯列(24)及び前記外周歯列(20)とかみ合う中間車(22)を備える歯車伝動装置である請求項2に記載の駆動ユニット。

【請求項4】

前記中間車(22)は、前記転がり支承部(16)の1つと二軸線上に配置されている請求項3に記載の駆動ユニット。

【請求項5】

前記歯車電動装置は、減速伝動装置として形成されている請求項3又は4に記載の駆動ユニット。

【請求項6】

前記機械的な駆動部(16, 20, 22, 24)は、互いに異なる大きさの外径を有す

る転がり部材（16）を含んでおり、該転がり部材（16）は、前記支持体（18）を、前記モータ軸（12）上に支承する請求項1に記載の駆動ユニット。

【請求項7】

前記転がり部材（16）はニードルころによって形成されている請求項1または請求項6に記載の駆動ユニット。

【請求項8】

前記駆動ユニットは、自動車の電子スリップ制御可能なブレーキ装置用の液力装置のラジアルピストンポンプの作動のための駆動ユニットである、請求項1から7のいずれか1項に記載の駆動ユニット。